

大学院薬学研究科入試の変更について

令和2（2020）年度実施の変更点

薬学研究科で7月、8月に実施する入学試験は、予定どおり実施しますが、新型コロナウイルス感染防止の観点から、選抜方法を次のように変更します。

また、受験生は試験日の2週間前から健康チェックを行っていただくようお願いします。

1 博士前期課程

■変更前

選抜方法

- ・推薦・特別推薦：審査は志願理由書、口頭試問、英語試験（筆記）、成績証明書、面接試験を総合し行う。
 - ・新型コロナウイルス感染拡大の影響で入国制限があり、試験日に渡日できない受験生の選抜は志願理由書、英語スコア、口頭試問、面接試験、成績証明書を総合して行う（2020年度10月入学）。
 - ・本学の学生で筆記試験免除となった者は、一般選抜試験の筆記試験（英語、自然科学基礎・薬科学基礎ともに）および面接試験が免除される。
 - ・他大学からの受験生で筆記試験免除となった者は、一般選抜試験の筆記試験が免除され、8月7日（金）の面接試験のみ受験する（10月入学は7月11日に面接を実施）。
 - ・免除を受けられなかった者は、特別の手続きを経ることなく上記の一般選抜試験を受験することができる。
 - ・また、第2希望以下の分野への配属を条件に免除となった者は、特別の手続きを経ることなく上記の一般選抜試験を受験することができ、成績により上位の希望分野への変更が可能になる。
- ・一般選抜
審査は筆記試験、英語試験（筆記）、面接試験を総合して行う。
筆記試験：化学系、物理系、生物系から計9科目（それぞれの系で自然科学基礎2科目、薬科学基礎1科目）を出題する。受験生は任意の3科目を選択して解答する。

■変更後

選抜方法

- ・**推薦・特別推薦入試：口頭試問を中止します。**
 - ・推薦・特別推薦：審査は志願理由書、英語試験（筆記）、成績証明書、面接試験を総合し行う。
 - ・新型コロナウイルス感染拡大の影響で入国制限があり、試験日に渡日できない受験生の選抜は志願理由書、英語スコア、面接試験、成績証明書を総合して行う（2020年度10月入学）。
- ・一般選抜
選抜方法に変更ありません。試験会場を広い教室へ変更して行います。

2 博士後期課程、博士課程

3月25日の通知後、5月25日のTOEICの試験が中止となったため、募集要項では次の通り変更されています。

■変更前

選抜方法

入学者の選抜は、修士論文要旨等、成績証明書、TOEIC等の公式スコア、試験及び面接の結果を総合して行います。

■変更後

新型コロナウイルスの感染防止対策で5月24日のTOEICの試験が中止となったため、第一回の入試では、スコアの提出を求めず、午前の専門試験で英語の学力を確認します（令和2年度（2020年度）に実施する薬学研究科入試に限る措置）。第二回についても今後の状況により変更する可能性があります。

また、新型コロナウイルス感染症の状況によっては、ウェブサービスによる試験を実施する場合があります。

選抜方法

入学者の選抜は、修士論文要旨等、成績証明書、TOEIC等の公式スコア、試験及び面接の結果を総合して行います。第一回の志願者はTOEICが中止となったため、修士論文要旨等、成績証明書、試験（専門科目・英語）及び面接の結果を総合して行います。